



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月13日

上場会社名 株式会社オルトプラス 上場取引所 東
 コード番号 3672 URL http://www.altplus.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 石井 武
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO執行役員管理本部長 (氏名) 竜石堂 潤一 TEL 03-4577-6701
 兼財務・経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	1,912	△8.5	△714	—	△712	—	△874	—
26年9月期第3四半期	2,090	—	144	—	109	—	20	—

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 △874百万円 (—%) 26年9月期第3四半期 27百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	△97.83	—
26年9月期第3四半期	2.46	2.29

(注) 当社は平成25年12月15日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第3四半期	2,698	2,061	76.3	229.35
26年9月期	3,325	2,856	85.9	323.32

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 2,059百万円 26年9月期 2,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注) 配当予想の修正については、本日（平成27年8月13日）公表いたしました「業績予想の修正、配当予想の公表並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成27年9月期の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,493	△9.9	△1,014	—	△1,009	—	△1,176	—	△131.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注) 業績予想の修正については、本日（平成27年8月13日）公表いたしました「業績予想の修正、配当予想の公表並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期3Q	8,989,400株	26年9月期	8,835,400株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	一株	26年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期3Q	8,934,184株	26年9月期3Q	8,259,714株

(注) 平成25年12月15日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため期末発行済株式総数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府と日銀による積極的な経済政策及び金融政策の推進により、雇用や所得環境の改善傾向が続く中で、原油価格の下落等の要因もあり緩やかな回復基調が続いております。ソーシャルゲーム業界を取り巻く環境につきましては、携帯電話契約数が平成27年3月末現在で1億4783万件(注)となるとともに、スマートフォン及びタブレット型端末によるインターネットの利用が引き続き増加していくと見込まれます。

このような事業環境の下、当社グループは引き続き国内SNSプラットフォーム向けのソーシャルゲーム及び「App Store」「Google Play」向けのネイティブアプリの企画、開発及び運営を継続して行ってまいりました。当第3四半期連結会計期間におきましては、平成26年10月に設立した韓国子会社より韓国マーケット向けネイティブアプリ1タイトル、日本マーケット向けネイティブアプリ1タイトルの合計2タイトルをリリースいたしました。当社がサービス提供しているSNSプラットフォーム向けのソーシャルゲーム6タイトルを終了いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末における運営タイトル数は、第2四半期連結会計期間末より運営している12タイトルを合わせ、合計14タイトル(国内13タイトル、海外1タイトル)となりました。

ベトナム子会社につきましては、当社ゲームタイトルの開発及び運営だけではなく、オフショア開発拠点としての営業活動を進めており、他社ウェブサービス等の開発及び運営業務を進めております。韓国子会社につきましてはネイティブアプリ2タイトルをリリースいたしました。引き続きアジアマーケットをターゲットとしたネイティブアプリの開発を進めております。また、従来のソーシャルゲーム運用で切り分けられていたカスタマーサポート業務とテスト業務とをワンストップで提供する新たな運用サービスの確立を目的として、平成27年4月に株式会社SHIFTと合弁会社を高知県に設立いたしました。

運営中のタイトルにつきましては、運営の効率化を進めることより売上減少に見合うコスト削減を実施し、採算性の低下したタイトルについてはサービスを終了してまいりましたが、リリースを予定していたネイティブアプリの開発遅延等により、開発コストが運営中のタイトルによる利益を引き続き上回って推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,912,869千円(前年同四半期比8.5%減)、営業損失は714,314千円(前年同四半期は144,370千円の営業利益)、経常損失は712,858千円(前年同四半期は109,541千円の経常利益)、四半期純損失は874,062千円(前年同四半期は20,332千円の四半期純利益)となりました。

(注) 一般社団法人電気通信事業者協会公表

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,698,729千円となり、前連結会計年度末に比べ626,712千円減少いたしました。流動資産の残高は1,879,884千円(前連結会計年度末比798,648千円の減少)となりました。これは主に、現金及び預金の減少739,587千円、売掛金の減少96,433千円によるものであります。固定資産の残高は818,844千円(同171,935千円の増加)となりました。これは主に、のれんの増加44,305千円、投資その他の資産の増加117,867千円によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は636,979千円となり、前連結会計年度末に比べ168,210千円増加いたしました。流動負債は402,585千円(前連結会計年度末比43,264千円の増加)となりました。これは主に未払金等の増加による流動負債のその他の増加等によるものであります。固定負債は234,394千円(同124,946千円の増加)となりました。これは長期借入金の増加によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,061,749千円となり、前連結会計年度末に比べ794,922千円減少いたしました。これは主に資本金の増加及び資本準備金の増加がそれぞれ38,500千円があった一方、四半期純損失の計上874,062千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月7日に公表した業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「通期業績予想の修正、配当予想の公表並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当いたしません。第1四半期連結会計期間において、新たにAltPlus Korea INC.を設立し、同社を連結の範囲に含めております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度におきまして営業損失56,438千円、経常損失82,240千円、当期純損失148,755千円となり、当第3四半期連結累計期間においても営業損失714,314千円、経常損失712,858千円、四半期純損失874,062千円となりました。また、当連結会計年度におきましては、前連結会計年度に引き続き、2期連続となる営業損失、経常損失、当期純損失を計上する見込みとなりました。

営業キャッシュ・フローにつきましては、前連結会計年度に772,694千円の支出となり、当連結会計年度におきましても、2期連続となる営業キャッシュ・フローのマイナスを計上する見込みとなりました。

このような状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象等が存在しておりますが、当第3四半期連結会計期間末日における現金及び預金残高は1,034,207千円であり、当面の十分な手元資金を確保しております。

また、当社グループは、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況を早期に解消又は改善するため、以下の対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、四半期連結財務諸表への注記は記載しておりません。

① 運営タイトルの選択と集中による売上の最大化並びに採算性の向上

当社グループが運営するタイトルのうち、今後も主力と位置付けたタイトルに対して優先的に開発・運営人員を再配置することにより、売上最大化を目指すとともに、採算性の低下したタイトルにつきましては順次サービス運営を終了することにより、運営タイトルにおける採算性を向上してまいります。

運営・開発中のタイトルのうち、開発業務など外部への外注費については、サービス運営を終了したタイトルの担当者を再配置し、内製化を進めることにより引き続き削減を行ってまいります。また、デバッグ並びにユーザーサポート業務については合弁会社であるSHIFT PLUS社へ業務移管することにより、対象業務の人件費削減を進めてまいります。

② 開発中タイトルのスケジュールどおりのリリースによる開発費用の早期回収と売上の獲得

当社グループは、開発費用について発生時費用処理としていることから、開発費用が収益に対し常に先行するとともに、ウェブブラウザゲームからネイティブアプリに開発がシフトしたことにより、開発期間も伸長しております。タイトルのリリースの遅れが利益悪化の大きな要因となることから、今後は開発タイトルをより絞り込むとともに、開発工数の見積り並びに開発中の工数管理をより精緻に行うことにより、リリースの遅延を最大限抑制し、開発費用の早期回収並びに売上の獲得を行ってまいります。

③ 海外子会社の収益向上

海外子会社の2社(ベトナム・韓国)は設立後間もない状況であり、グループ損益への貢献がない状況であります。ベトナム子会社においては開発業務の受託を進めることによりグループ外売上を引き続き増加させていくとともに、韓国子会社においては引き続きアジアマーケットを見据えたネイティブアプリの開発及び運営を進めて行くことにより、早期にグループ収益へ貢献するための施策を進めてまいります。

④ 経費の削減

開発部門につきましては業務委託費用の削減、人員削減によるコスト削減を進めておりますが、間接部門につきましても人員の配置見直し等により人件費を削減するとともに、各種経費につきましても継続的に見直しを行ってまいります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,773,794	1,034,207
売掛金	465,674	369,241
その他	439,062	476,435
流動資産合計	2,678,532	1,879,884
固定資産		
有形固定資産	115,824	116,600
無形固定資産		
のれん	—	44,305
その他	25,806	34,793
無形固定資産合計	25,806	79,098
投資その他の資産		
差入保証金	195,082	418,835
その他	310,195	204,309
投資その他の資産合計	505,277	623,145
固定資産合計	646,908	818,844
資産合計	3,325,441	2,698,729
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,501	72,700
短期借入金	66,640	—
未払法人税等	550	99
その他	204,629	329,785
流動負債合計	359,321	402,585
固定負債		
長期借入金	109,448	234,394
固定負債合計	109,448	234,394
負債合計	468,769	636,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,254,259	1,292,759
資本剰余金	1,243,259	1,281,759
利益剰余金	357,299	△516,762
株主資本合計	2,854,818	2,057,755
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,854	1,709
その他の包括利益累計額合計	1,854	1,709
新株予約権	—	2,284
純資産合計	2,856,672	2,061,749
負債純資産合計	3,325,441	2,698,729

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,090,991	1,912,869
売上原価	1,385,599	1,925,753
売上総利益又は売上総損失(△)	705,391	△12,883
販売費及び一般管理費	561,020	701,430
営業利益又は営業損失(△)	144,370	△714,314
営業外収益		
受取利息	163	251
為替差益	178	6,107
その他	—	926
営業外収益合計	342	7,285
営業外費用		
支払利息	2,646	1,467
株式公開費用	22,895	—
株式交付費	9,629	29
持分法による投資損失	—	3,830
その他	—	502
営業外費用合計	35,171	5,830
経常利益又は経常損失(△)	109,541	△712,858
特別利益		
主要株主株式短期売買利益返還益	8,209	—
新株予約権戻入益	—	63
特別利益合計	8,209	63
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	117,750	△712,795
法人税、住民税及び事業税	197,554	3,317
法人税等調整額	△100,135	157,949
法人税等合計	97,418	161,267
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	20,332	△874,062
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,332	△874,062

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	20,332	△874,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,814	—
為替換算調整勘定	3,113	△144
その他の包括利益合計	6,927	△144
四半期包括利益	27,260	△874,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,260	△874,207
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ソーシャルゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。